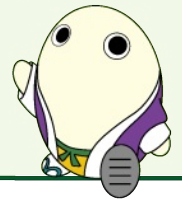


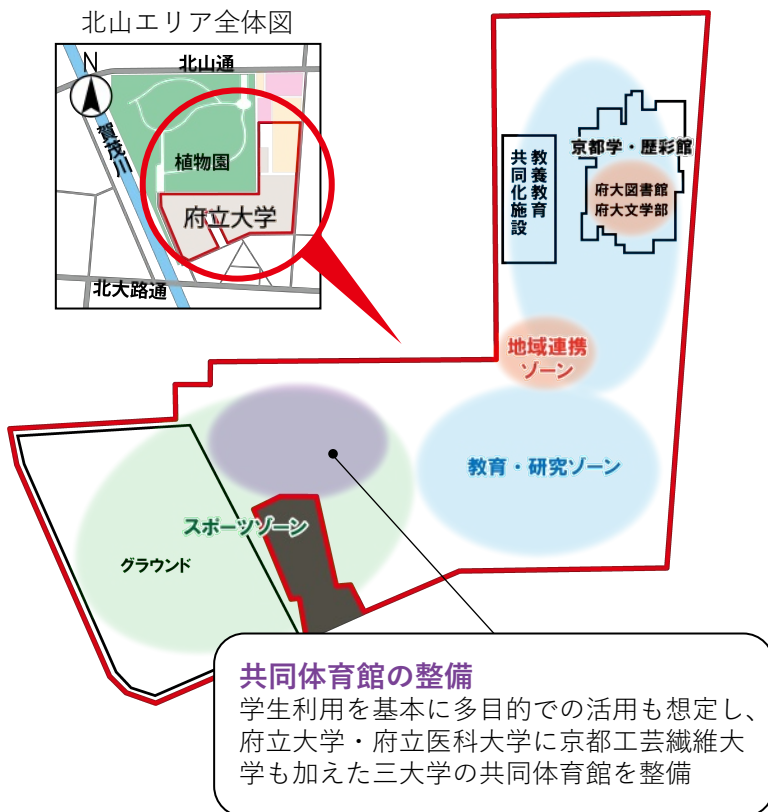
北山エリアの整備について

～京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリア～

北山エリア整備について、検討状況を随時お知らせします。



京都府立大学においては、学舎全体が老朽化していることから、将来を見据えた学部学科再編を行い、これに適した学舎の再整備により、京都府における知の拠点として地域に開かれた魅力的な大学にしていきます。



府立大学の整備の概要

学部学科再編に対応した施設整備

従来の3学部12学科から、「食」「農」分野の連携強化を目指した新学部の設置などにより5学部12学科への再編計画に対応した施設の整備

教育・研究環境の充実

将来も見据えた高機能で持続可能な施設となるように様々な教育・研究環境に対応できる施設を整備

地域貢献の拠点（ハブ施設）としての施設

府民に開かれた大学として、研究成果など大学を幅広く情報発信する施設や地域との連携に資する施設などを整備

学生が集うキャンパスとしての整備

学生の諸活動がより充実したものとなるようにフリースペースなどを整備

北山エリアのコンセプトとの整合

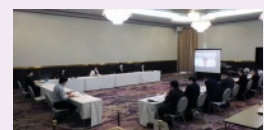
「文化・芸術・学術・スポーツに身近に出会い、交流するまち」というエリアコンセプトに基づき、共同体育館などを整備

共同体育館整備に係る意見聴取会議の実施状況

8月10日に共同体育館の整備について、色々な専門家の方からご意見をいただきました。

主な意見等の概要

- 京都に十分な体育館がなく、国際大会や全国大会が開催できていない。
- 会議室等を多く備えれば、災害時に体調不良の方などのための部屋として利用できる。
- 現地での観戦に限らない、ライブビューイングのような形態も広がっていくので、大きなアリーナがどこまで必要かの検討も必要。
- 工事等では学生に支障が出てくるので、学生意見を取り入れるなど、在校生等のモチベーションが下がらないようにしていくことが大事。
- 障害がある人もない人も使いやすい施設にするべきではないか。
- 大学の卒業式や講演会、フォーラムなどでも使えるのではないか。



周辺学区の皆さんとの意見交換等の状況

松ヶ崎学区（7/27）、紫明学区（7/28）、上賀茂学区（7/30）、元町学区（8/2）の各学区の役員会において、整備の方向性の説明や意見交換をさせていただきました。

主な意見等の概要

- 共同体育館を地域の人も使えるようになるとありがたい。
- 地域住民の意見を聴きながら、今後の将来を担う若者の声も大事に聴いて欲しい。
- 植物園を整備するなら、子供や母親が喜ぶ施設にして欲しい。
- 北山エリア整備のことをあまり知らない人も多いので、もっと情報発信して声を聴いて欲しい。
- 正しい情報発信をしてもらえると地域住民の安心につながるので継続してもらいたい。
- 旧総合資料館跡地の文化施設はコンサートホールと棲み分けして、上手に運用して欲しい。
- 植物園でバックヤードツアーなど、楽しんで学べるようにして、ハードだけでなく、ソフト面でも利用価値を上げるような取組をして欲しい。
- 今の植物園が好きなので、古い部分だけ更新し、できるだけ現状を維持して欲しい。



整備に関する Q & A



北山エリアの整備について、よくいただくご質問にお答えします。



Q 共同体育館の整備と併せて、学舎整備についても検討が進んでいるの？



Q 学生の授業や課外活動に影響なく使用できるの？また、共同体育館は一般府民も利用できるの？



Q 大規模な共同体育館を整備した場合、地域住民への影響はあるの？



A 進めています。

共同体育館について、専門家や府民の御意見を丁寧にお聴きしながら整備内容の検討を進めるのと同時に、府立大学では、学部・学科再編を見据えた学舎整備に向けて、整備内容の検討を進めています。



A 府民の方も利用していただけます。

学生利用を基本に、空いた時間で府民の方に利用していただくなど、多用途に活用できるように検討していきます。また、防災機能も備え、もしもの時に地域の皆さんの安心安全につながるようにしていきたいと考えています。



A 必要な対策を検討していきます。

今後、専門家や府民など様々な声をお聴きしながら、規模も含めて検討していきます。また、交通量調査等の必要な検討を行い、住環境に極力影響が出ないように配慮してまいります。

